

予算委員会

委員一覧（45名）

委員長	鴻池 祥肇（自民）	川合 孝典（民主）	加納 時男（自民）
理事	尾立 源幸（民主）	芝 博一（民主）	河合 常則（自民）
理事	櫻井 充（民主）	友近 聡朗（民主）	佐藤 信秋（自民）
理事	津田 弥太郎（民主）	中谷 智司（民主）	末松 信介（自民）
理事	羽田 雄一郎（民主）	長谷川 憲正（民主）	田村 耕太郎（自民）
理事	水岡 俊一（民主）	平野 達男（民主）	谷川 秀善（自民）
理事	椎名 一保（自民）	福山 哲郎（民主）	南野 知恵子（自民）
理事	伊達 忠一（自民）	藤原 良信（民主）	松村 龍二（自民）
理事	林 芳正（自民）	舟山 康江（民主）	山田 俊男（自民）
理事	山口 那津男（公明）	森 ゆうこ（民主）	山本 一太（自民）
	相原 久美子（民主）	森田 高（民主）	谷合 正明（公明）
	石井 一（民主）	吉川 沙織（民主）	渡辺 孝男（公明）
	植松 恵美子（民主）	米長 晴信（民主）	鰐淵 洋子（公明）
	大久保 勉（民主）	荒井 広幸（自民）	大門 実紀史（共産）
	大久保 潔重（民主）	有村 治子（自民）	福島 みずほ（社民）

（20.1.29 現在）

（１）審議概観

第169回国会において、本委員会に付託された案件は、平成十九年度補正予算3案及び平成二十年度総予算3案であり、いずれも否決した。なお、これらはいずれも、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決（可決）が国会の議決となった。

予算の執行状況に関する調査を行った。

また、本委員会付託の請願1種類1件は、審査未了となった。

〔予算の審査〕

平成十九年度補正予算 平成十九年度補正予算3案は、1月18日国会に提出され、2月6日に成立した。

予算委員会では、1月29日、額賀財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付後、1月31日、2月1日及び5日に、福田内閣総理大臣及び関係各大臣に対し、質疑を行い、翌6日に討論の後、賛成少数により否決し

た。

主な質疑は以下のとおりである。まず、経済問題について、「景気の現状をどうみているのか。サブプライム問題への対応はどうか」との質疑があり、これに対し、経済財政政策担当大臣及び金融担当大臣より、「日本経済は回復基調が続いているが、賃金が伸びないことから消費に強さがみられず、また、改正建築基準法の影響により住宅投資が依然として低水準にある。加えて、原油高で中小企業を中心に収益が悪化するところも出てきている。米国経済の減速など世界経済は予断を許さない状況にあり、景気動向を十分に注意して見ていきたい。サブプライム問題については、その他の金融商品も含めて損失が拡大しているのは事実であり、警戒を強めているが、現時点では、金融機関の利益、資本の状況からみて十分対応可能な状況である」旨の答弁が行われた。

また、財政問題については、「道路特定財源は一般財源化すべきではないか。高齢者医療制度の導入に伴う負担増加の軽減にどう取り組むのか」との質疑があり、これに対し、福田内閣総理大臣及び関係各大臣より、「道路特定財源制度は、道路を造ることで恩恵を受ける方々に、その財源を負担していただき、その目的を達成しようとするもので、5年に一回、見直しを行いつつ、毎年度の予算でどこに道路をつくるのが重要かを議論しながら今日に至っている。特定財源は、財政硬直化の弊害もあり、小泉内閣以来、その見直しに取り組み、納税者の理解が得られる範囲で、一般財源化を進めてきている。高齢者医療制度については、高齢者にきめの細かい医療を行っていくという理想を掲げ、医療制度の抜本改革を行おうとしたもので、新たに保険料負担が生じる方々等に対しては負担軽減を図りつつ、制度の変更を進めていきたい」旨の答弁があった。

このほか、中国製冷凍食品の中毒事件、原油高対策、穀物価格高騰への対応、年金記録問題、医師不足の現状と対応、緊急医療への取組、医療事故の無過失補償制度、介護職員の労働状況、地方財政の健全化、学校耐震化の推進、環境税の導入、予算と法律の関係、道路整備特別会計の経理状況、沖縄米軍基地問題等について、質疑が行われた。

平成二十年度総予算 平成二十年度総予算3案は、1月18日国会に提出され、3月28日に成立した。

予算委員会では、1月29日、額賀財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院から送付後、3月13日より質疑に入り、18日には道路特定財源に関する集中審議、24日には外交防衛に

関する集中審議を、また、25日には公聴会を、27日及び28日午前には委嘱審査を、そして、28日午後には締めくり質疑を行い、討論の後、賛成少数により否決した。なお、予備審査中の2月18日及び19日に宮城県に委員を派遣して現地調査を行った。

主な質疑の内容は以下のとおりである。まず、経済問題について、「サブプライム問題や原油高の影響が一段と懸念されるが、政府は景気の現状をどう分析し、対応していくのか」との質疑があり、これに対し、経済財政政策担当大臣より、「昨年来の米国経済の減速や原油高が、企業収益にじわじわと影響を及ぼしており、景気は回復のテンポが緩やかになっている。米国経済やアジア経済の動向を十分警戒しつつ、景気の下ぶれリスクに対しては、早め早めの対応を講じていきたい。これからは、国内総生産の規模だけでなく、成長の中身が大切であり、国内の人材、技術力を生かしていく努力が重要と考えている。」旨の答弁が行われた。

次に、道路特定財源問題について、「総理は21年度から道路特定財源を廃止し、一般財源化すると表明したが、その真意はどうか。暫定税率廃止でどのような影響があるのか。道路財源によるマッサージチェアの購入など無駄使いの問題が明らかになったが、どう対応するのか」との質疑があり、これに対し、福田内閣総理大臣及び関係各大臣より、「受益と負担の関係がわかりやすいことから、これまで特定財源により道路の整備を進めてきたが、委員会審議での指摘を謙虚に受け止め、一般財源化を決意した。ただし、財源不足による国民の混乱、地方財政への影響を踏まえ、一般財源化は21年度から措置することとしている。暫定税率を廃止すれば、国・地方で2.6

兆円の財源不足が生じることとなり、国では新直轄事業ができなくなるほか、地方自治体の予算編成にも影響を与え、ひいては地方経済の活性化を阻害する大きな問題と考えている。一般財源化により暫定税率の根拠はなくなるが、本年の税制抜本改革の時に、環境問題への対応、地方における道路整備の必要性、厳しい財政状況を踏まえて、税率を決めていくことになる。また、特定財源の用途については、国民から誤解や批判を招かないようにすべきと考えており、道路関係公益法人の問題を含め、思い切って改革を進めていく所存である」旨の答弁が行われた。

次に、社会保障について、「社会保障費の2,200億円の削減は既に限界ではないか。今後の社会保障の問題にどう取り組んでいくのか。政府・与党は年金記録の統合を1年間で完了すると約束していたが、公約違反ではないか」との質疑があり、これに対し、福田内閣総理大臣及び関係各大臣より、「2011年度のプライマリー・バランス黒字化のため、歳出改革目標を設定しているが、社会保障費は機械的に削減するのではなく、メリハリをつけるよう検討している。社会保障の削減には限界があるが、国民の安心の基盤となる制度をつくることが大切であり、このため、今般、社会保障国民会議を設置して、議論を始めることとした。社会保障の将来像、給付と負担の在り方などについて検討を進めることにしており、秋頃には最終的な取りまとめを行いたい。年金記録の統合については、説明が不十分で国民に誤解を与えたことは反省している。政府・与党合意のコンピュータ上での記録の突き合わせは実施し、また年金特別便の送付も着実に進んでおり、今後、最終的な解決に向けて努力していく」旨の答弁が行われた。

このほか、日中外交の在り方、イージス艦と漁船の衝突事故、思いやり予算、日米地位協定、公益法人改革、規制緩和の弊害、年金積立金運用の在り方、後期高齢者医療制度の問題点、介護労働者の処遇、がん対策の取組、日雇い派遣等雇用の在り方、官製ワーキングプアの現状、中小企業支援の具体策、消費者行政の確立、地域活性化策、地球温暖化問題、貨物船事故による重油流出被害、関門海峡道路建設の見直し、中国製冷凍食品の中毒事件等について質疑が行われた。

〔国政調査等〕

予算の執行状況に関する調査として以下のとおり、予算委員会が開かれた。

2月4日、社会保障に関する件について、政府に対する集中審議が行われた。質疑では、医師不足の現状と対応、新型インフルエンザ対策、年金記録問題、産後休暇及び看護休暇の拡充、社会保障費削減の妥当性、若年者及び年長者のフリーター対策、救急医療機関の確保策、派遣労働の規制強化等の問題が取り上げられた。

また、4月7日には、経済・社会保障等に関する件について、政府に対する集中審議が行われた。質疑では、年金記録問題、後期高齢者医療制度の問題点、中小企業対策、年金保険料の過払い問題、障害者対策、農商工連携への取組、経済成長戦略、介護福祉士の処遇改善、年金からの保険料天引き等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

- 平成20年 1 月29日(火)(第 1 回)
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 平成二十年度一般会計予算(予)
平成二十年度特別会計予算(予)
平成二十年度政府関係機関予算(予)
平成十九年度一般会計補正予算(第 1 号)(予)
平成十九年度特別会計補正予算(特第 1 号)(予)
平成十九年度政府関係機関補正予算(機第 1 号)(予)
以上 6 案について額賀財務大臣から趣旨説明を聴いた。
- 平成二十年度総予算審査のため委員派遣を行うことを決定した。
- 平成20年 1 月31日(木)(第 2 回)
— 総括質疑 —
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成十九年度一般会計補正予算(第 1 号)(衆議院送付)
平成十九年度特別会計補正予算(特第 1 号)(衆議院送付)
平成十九年度政府関係機関補正予算(機第 1 号)(衆議院送付)
以上 3 案について福田内閣総理大臣、舛添厚生労働大臣、泉内閣府特命担当大臣、額賀財務大臣、冬柴国土交通大臣、増田国務大臣、高村外務大臣、渡海文部科学大臣、若林農林水産大臣、石破防衛大臣、岸田内閣府特命担当大臣、上川内閣府特命担当大臣、大田内閣府特命担当大臣、甘利経済産業大臣、渡辺内閣府特命担当大臣、鴨下環境大臣及び参考人日本銀行総裁福井俊彦君に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
直嶋正行君(民主)、羽田雄一郎君(民主)、田中康夫君(民主)、椎名一保君(自民)、加納時男君(自民)、坂本由紀子

- 君(自民)、山口那津男君(公明)、渡辺孝男君(公明)、大門実紀史君(共産)、福島みずほ君(社民) 関連質疑
- 平成20年 2 月 1 日(金)(第 3 回)
— 一般質疑 —
- 平成十九年度一般会計補正予算(第 1 号)(衆議院送付)
平成十九年度特別会計補正予算(特第 1 号)(衆議院送付)
平成十九年度政府関係機関補正予算(機第 1 号)(衆議院送付)
以上 3 案について額賀財務大臣、冬柴国土交通大臣、町村内閣官房長官、鴨下環境大臣、大田内閣府特命担当大臣、若林農林水産大臣、甘利経済産業大臣、高村外務大臣、渡海文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、上川内閣府特命担当大臣、鳩山法務大臣、石破防衛大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
米長晴信君(民主)、中谷智司君(民主)、山田俊男君(自民)、森田高君(民主)、植松恵美子君(民主)、川合孝典君(民主)、大久保潔重君(民主)、鰐淵洋子君(公明)、仁比聡平君(共産)、福島みずほ君(社民) 関連質疑
- 平成20年 2 月 4 日(月)(第 4 回)
— 集中審議(社会保障) —
- 予算の執行状況に関する調査のうち、社会保障に関する件について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、舛添厚生労働大臣、大田内閣府特命担当大臣、額賀財務大臣、高村外務大臣、渡辺内閣府特命担当大臣、増田総務大臣、上川内閣府特命担当大臣、鳩山法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。
〔質疑者〕
櫻井充君(民主)、蓮舫君(民主)、有村治子君(自民)、西島英利君(自民)、谷合正明君(公明)、山下芳生君(共産)、福島みずほ君(社民) 関連質疑
- 平成20年 2 月 5 日(火)(第 5 回)

— 締めくくり質疑 —

- 平成十九年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)

平成十九年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成十九年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、額賀財務大臣、増田総務大臣、泉国務大臣、渡海文部科学大臣、大田内閣府特命担当大臣、舩添厚生労働大臣、若林農林水産大臣、高村外務大臣、町村内閣官房長官、鳩山法務大臣、甘利経済産業大臣、宮崎内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局した。

〔質疑者〕

福山哲郎君(民主)、佐藤信秋君(自民)、
平野達男君(民主)、浅尾慶一郎君(民主)、
渡辺孝男君(公明)、紙智子君(共産)、
福島みずほ君(社民) 関連質疑

- 平成20年2月6日(水)(第6回)

- 平成十九年度一般会計補正予算(第1号)(衆議院送付)

平成十九年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成十九年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について討論の後、いずれも否決した。

(平成十九年度補正予算)

賛成会派 自民、公明

反対会派 民主、共産、社民

- 平成20年3月13日(木)(第7回)

— 基本的質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十年度政府関係機関予算(衆議院送付)
以上3案について福田内閣総理大臣、高村外務大臣、大田内閣府特命担当大臣、舩添厚生労働大臣、渡辺内閣府特命担当大臣、鴨下環境大臣、町村内閣官房長官、冬柴国土交通大臣、石破防衛大臣、増田国務大臣、甘利経済

産業大臣、額賀財務大臣、若林農林水産大臣、渡海文部科学大臣、岸田内閣府特命担当大臣、上川国務大臣、鳩山法務大臣、竹島公正取引委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

吉村剛太郎君(自民)、林芳正君(自民)、
脇雅史君(自民)、平田健二君(民主)

関連質疑

- 平成20年3月14日(金)(第8回)

— 基本的質疑 —

- 平成二十年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、渡辺内閣府特命担当大臣、舩添厚生労働大臣、大田内閣府特命担当大臣、鴨下環境大臣、増田総務大臣、泉国家公安委員会委員長、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、石破防衛大臣、岸田内閣府特命担当大臣、甘利経済産業大臣、松島国土交通副大臣、平井国土交通副大臣、伏屋会計検査院長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

津田弥太郎君(民主)、林久美子君(民主)、
自見庄三郎君(民主)、木庭健太郎君(公明)、
山本博司君(公明)、小池晃君(共産)、福島みずほ君(社民)

関連質疑

- 平成20年3月17日(月)(第9回)

— 一般質疑 —

- 派遣委員から報告を聴いた。
- 平成二十年度一般会計予算(衆議院送付)
平成二十年度特別会計予算(衆議院送付)
平成二十年度政府関係機関予算(衆議院送付)
以上3案について額賀財務大臣、大田内閣府特命担当大臣、増田国務大臣、冬柴国土交通大臣、鴨下環境大臣、渡辺国務大臣、町村内閣官房長官、高村外務大臣、舩添厚生労働大臣、甘利経済産業大臣、若林農林水産大臣、泉内閣府特命担当大臣、石破防衛大臣、渡海文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

池口修次君（民主） 内藤正光君（民主）
辻泰弘君（民主） 加納時男君（自民）
河合常則君（自民） 山口那津男君（公明）
井上哲士君（共産） 福島みずほ君（社民）

関連質疑

- 平成20年3月18日（火）（第10回）
— 一般質疑・集中審議（道路特定財源）—
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、増田総務大臣、額賀財務大臣、石破防衛大臣、高村外務大臣、上川内閣府特命担当大臣、大田内閣府特命担当大臣、渡辺内閣府特命担当大臣、舛添厚生労働大臣、伏屋会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局及び参考人東日本高速道路株式会社代表取締役社長井上啓一君に対し質疑を行った。

・一般質疑

〔質疑者〕

櫻井充君（民主） 友近聡朗君（民主）
相原久美子君（民主） 藤原良信君（民主）

関連質疑

・集中審議

〔質疑者〕

平野達男君（民主） 尾立源幸君（民主）
末松信介君（自民） 荒井広幸君（自民）
西田実仁君（公明） 仁比聡平君（共産）
福島みずほ君（社民）

関連質疑

- 平成二十年度総予算審査のため公聴会開会承認要求書を提出することを決定した。
- 平成20年3月19日（水）（第11回）
— 一般質疑 —
- 平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について冬柴国土交通大臣、額賀財務大臣、鴨下環境大臣、泉国務大臣、増田総務大臣、甘利経済産業大臣、町村内閣官房長官、舛添厚生労働大臣、岸田内閣府特命担当大臣、若林農林水産大臣、大田内閣府特命担

当大臣、石破防衛大臣、江渡防衛副大臣、岩永農林水産副大臣、池坊文部科学副大臣、伏屋会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

福山哲郎君（民主） 森ゆうこ君（民主）
中谷智司君（民主） 大久保勉君（民主）
石井準一君（自民） 森まさこ君（自民）
渡辺孝男君（公明） 山下芳生君（共産）
近藤正道君（社民）

関連質疑

- 平成20年3月21日（金）（第12回）
— 一般質疑 —
- 平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について大田内閣府特命担当大臣、冬柴国土交通大臣、額賀財務大臣、若林農林水産大臣、舛添厚生労働大臣、増田総務大臣、渡海文部科学大臣、甘利経済産業大臣、町村内閣官房長官、鴨下環境大臣、岸田国務大臣、平井国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

平野達男君（民主） 川合孝典君（民主）
植松恵美子君（民主） 米長晴信君（民主）
武内則男君（民主） 長谷川大紋君（自民）
牧野たかお君（自民） 谷合正明君（公明）
鰐淵洋子君（公明） 仁比聡平君（共産）
又市征治君（社民）

関連質疑

- 平成20年3月24日（月）（第13回）
— 一般質疑・集中審議（外交防衛）—
- 平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、増田総務大臣、舛添厚生労働大臣、鳩山法務大臣、渡海文部科学大臣、鴨下環境大臣、若林農林水産大臣、高村外務大臣、石破防衛大臣、泉国家公安委員会委員長、江渡防衛副大臣、寺田防衛大臣政務官、秋元防衛大臣政務官、大島参議院法制局長、郡山参議院法制局長及び政府参考人に対し質疑を

行った。

・一般質疑

〔質疑者〕

津田弥太郎君（民主） 相原久美子君（民主）
友近聡朗君（民主） 大門実紀史君（共産）
山内徳信君（社民） 関連質疑

・集中審議

〔質疑者〕

浅尾慶一郎君（民主） 犬塚直史君（民主）
山本一太君（自民） 佐藤正久君（自民）
浜田昌良君（公明） 井上哲士君（共産）
山内徳信君（社民） 関連質疑

○平成20年3月25日（火）（公聴会 第1回）

○平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

〔公述人〕

シンクタンク山崎養世事務所代表 山崎養世君

株式会社日本総合研究所調査部主任研究員
河村小百合君

国際基督教大学教養学部教授 八代尚宏君
跡見学園女子大学マネジメント学部准教授
中林美恵子君

・公述人（山崎養世君、河村小百合君）に対する質疑 — 経済・財政 —

〔質疑者〕

小林正夫君（民主） 森田高君（民主） 田村耕太郎君（自民）
鰐淵洋子君（公明） 大門実紀史君（共産）
福島みずほ君（社民）

・公述人（八代尚宏君、中林美恵子君）に対する質疑 — 経済・財政 —

〔質疑者〕

小林正夫君（民主） 森田高君（民主） 櫻井充君（民主）
林芳正君（自民） 山口那津男君（公明） 大門実紀史君（共産）
福島みずほ君（社民）

○平成20年3月26日（水）（第14回）

○平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について内閣委員会、総務委員会、法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員会、文教科学委員会、厚生労働委員会、農林水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員会及び環境委員会については3月27日の1日間、沖縄及び北方問題に関する特別委員会及び政府開発援助等に関する特別委員会については3月28日午前の半日間、当該委員会の所管に係る部分の審査を委嘱することを決定した。

○平成20年3月28日（金）（第15回）

— 締めくくり質疑 —

○各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会議録に掲載することに決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について福田内閣総理大臣、冬柴国土交通大臣、甘利経済産業大臣、鳩山法務大臣、町村内閣官房長官、額賀財務大臣、大田内閣府特命担当大臣、鴨下環境大臣、若林農林水産大臣、舩添厚生労働大臣、政府参考人及び参考人日本銀行副総裁白川方明君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも否決した。

〔質疑者〕

直嶋正行君（民主） 櫻井充君（民主）
渡辺孝男君（公明） 小池晃君（共産） 福島みずほ君（社民） 関連質疑

（平成二十年度総予算）

賛成会派 自民、公明

反対会派 民主、共産、社民

○平成20年4月7日（月）（第16回）

— 集中審議（経済・社会保障等） —

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する調査のうち、経済・社会保障等に関する件について福田内閣総理大臣、舩添厚生労働大臣、増田総務大臣、鳩山法務大臣、額賀財務大臣、大田内閣府特命担当大臣、甘利経済産業大臣、若林農林水産大臣、冬柴国土交通大臣、岸厚生労働副大臣、竹島公正取引委員会委員長及び政府参考人に

対し質疑を行った。

〔質疑者〕

内藤正光君（民主） 水岡俊一君（民主）
富岡由紀夫君（民主） 松野信夫君（民主）
衛藤晟一君（自民） 西島英利君（自民）
松村祥史君（自民） 荒木清寛君（公明）
浮島とも子君（公明） 小池晃君（共産）
近藤正道君（社民） 関連質疑

- 平成20年6月4日（水）（第17回）
- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 平成20年6月20日（金）（第18回）
- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

- 平成20年2月18日（月） 19日（火）
- 平成二十年度総予算の審査に資するため

〔派遣地〕

宮城県

〔派遣委員〕

鴻池祥肇君（自民） 尾立源幸君（民主）
櫻井充君（民主） 津田弥太郎君（民主）
羽田雄一郎君（民主） 水岡俊一君（民主）
伊達忠一君（自民） 林芳正君（自民）
山口那津男君（公明） 植松恵美子君（民主）
森田高君（民主） 南野知恵子君（自民）
山田俊男君（自民） 大門実紀史君（共産）
福島みずほ君（社民）